

青森中央学院大学 障害学生支援規程

(目的)

第1条 この規程は、障害者基本法並びに障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律及びその他の法令の定めに基づき、青森中央学院大学における障害学生支援に関する基本方針に即して障害学生支援を実施するために必要な事項を定めることを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、「障害のある学生」とは、身体障害、知的障害、精神障害（発達障害を含む）その他の心身の機能の障害があり、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活または社会生活に相当な制限を受ける状態にある学生（入学手続きをした者を含む）をいう。

(責務)

第3条 学長は、障害のある学生に対し不当な差別的取り扱いをすることにより学生の権利利益を侵害することのないよう、全学的な障害学生支援を推進するための具体的方策を講じなければならない。

2. 学長及び学部長は、当該部局において障害のある学生に対し不当な差別的な取り扱いをすることにより学生の権利利益を侵害することがないよう、学生相談室・健康管理室合同会議が提案した具体的支援策を検討し、実施に努めなければならない。
3. 教職員は、当該部局において障害のある学生に対し、不当な差別的取り扱いをすることにより学生の権利利益を侵害することのないよう、学生相談室・健康管理室合同会議が定めた具体的支援の実施及び合理的配慮の提供に努めなければならない。

(支援の申し出)

第4条 障害のある学生は、入学前、入学後のいずれの時期においても、修学に必要な支援の要請を申し出ることができる。

2. 支援の申し出は、学習支援センターが受理し、学生の教育的ニーズと意志について十分な聴取を行い、学生相談室・健康管理室合同会議に報告しなければならない。

(支援計画の策定)

第5条 学生相談室・健康管理室合同会議は、学生の支援の申し出に対し、その教育的ニーズと意志を十分尊重した上で、関係各部署と協議し、個別の支援計画を策定する。

(合意の形成)

第6条 支援計画は当該学生の合意を得て決定する。学生相談室・健康管理室合同会議は、当該学生に対し支援計画について十分な説明の機会を設け、支援内容に関する共通理解及び合意の形成を図らなければならない。

(支援の実施)

第7条 具体的支援は、障害のある学生が所属する学部が、主たる責任をもって実施する。

2. 学生相談室・健康管理室合同会議は、具体的支援が円滑に行われるよう、関係部局間の調整を行う。
3. 学習支援センターは、具体的支援の実施にあたって、関係部局間の連絡、学外機関との連携等を行う。

(相談対応)

第8条 学習支援センターは、具体的支援が円滑かつ継続的に行われるよう、障害学生及び支援に係る教職員からの相談に的確に応じ、具体的支援の課題の解決に努めなければならない。

(支援に係る事務)

第9条 具体的支援に係る事務は、学習支援センターにおいて処理する。

(秘密保持義務)

第10条 障害学生支援に従事する者または具体的支援に係る事務に従事している者は、正当な理由なく、障害のある学生および障害学生支援に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。

(補足)

第11条 この規則に定めるもののほか、この規則の実施に必要な事項については、学長が定める。

附 則

この規程は、平成31年2月1日から施行する。